

1面からのつづき

賞者八十一名を決定した。なお、表彰式は、来る五月二十日(土)、明治神宮参集殿において行われる予定である。

◇善行金章(十八名)

(北海道) 中山万喜男、齋藤博(宮城県) 渡邊俊悦(群馬県) 藤巻晃彦、林昌枝(千葉県) 安藤元作(神奈川県) 高井哲(山梨県) 長田玉夫(岐阜県) 瀬川紀代(愛知県) 酒井昭三(大阪府) 村田紘一、信田邦彦(兵庫県) 山本和子(和歌山県) 大東勇(広島県) 葉本光明(香川県) 白川盛幸(福岡県) 貞刈惣一郎、山中洋一

◇善行銀章(八十二名)

(北海道) 西澤芳雄、古谷勇一(青森県) 中村金雄、加川幸男、生田鉄美、鎌田正勝(岩手県) 芳賀博典、高橋英正、菊地勝一(宮城県) 加藤正重、四竈亮松、野中孝三(山形県) 安野高子、安野久雄(栃木県) 根本孝司(群馬県) 梁瀬久雄、田村恒夫、後藤康子、今井利郎、久松一夫、木暮高也、梅澤キヨ子、津久井光一、中村弘志(千葉県) 宮崎豊(東京都) 田中總子、井出勝行、木村茂、尾花秀雄、浦野秀樹、平岩宏子、高山喜一郎、毛利満里子、椋代操、大越恒男、木村肇(神奈川県) 新井久三、酒井清、村澤邦雄(山梨県) 勝村

支部だより

東京都新宿支部

新宿支部の総会及び祝賀会の開催

三月四日(土)一六〇〇から日本善行会新宿支部の総会が、新宿駅西口「三國一アイランドイツツ店」において支部会員等十二名が参加して開催されました。

勝野支部長から昨年夏の支部総会以降の支部の活動や本部の最近の状況等について報告があり、新宿支部の今後の活動等について意見交換が行われました。また、会員の秋田一郎、下村治生、新宿区議、桑原洋平、新宿区議、最近の都政や新宿区



抱える課題などについて説明があり、日本善行会新宿支部の果たすべき役割などについても話題となりました。総会に引き続き、昨年の秋の善行表彰受賞者の祝賀会が開かれ、和やかな懇親の場となりました。今後支部の様々な活動を一層充実させていくことを確認して閉会しました。

大分県大分支部

平成二十八年度秋季善行表彰伝達式並び懇親会開催

平成二十八年十二月二十一日(水)十六時から大分市長佐藤樹一郎様を始め大分市議会議長永松弘基様、大分市社会福祉協議会会長右田芳明様を迎え、大分市内の「豊の国健康ランド」において開催いたしました。本年度は十二名の方が受賞され、緊張した面持ちで着席されておりました。司会は大崎勝利事務局長が務め、開会の挨拶を立川事務局長が行いました。伝達式の前に日本善行会の目的を読み上げ、伝達式に入りま

兵庫支部

平成二十九年支部主催新年会厳粛に和やかに開催

兵庫県支部は一月二十九日(日)十一時三十分より支部主催で会場設定と進行企画を今年は東播ブロックの担当で、兵庫県明石市の子午線の通る城下町と世界一の吊橋がある明石海峡大橋を望む『グリーンヒルホテルア明石』で、今年度は東播ブロックの担当で企画と開催実施が行われ、県下四ブロックから会員五十一名が参加し開催されました。

会場に国旗と善行会旗が掲揚され国歌斉唱と世界平和と物故会員に黙祷を捧げられ、早乙女支部長は開会の挨拶で、今年善行会の創立八十周年



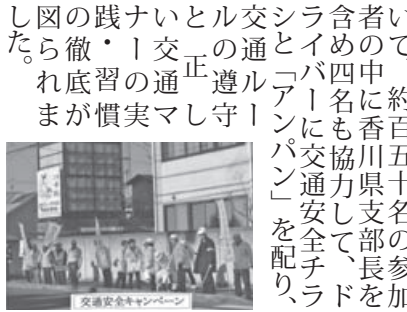
に当たり本部総会と共に記念式典が東京都で開催される、又、兵庫支部は、全国支部で二番目の会員を有し、県下を唯一四ブロック制の運営をしている支部としてその位置付けを述べ、共に仲良く、善行活動の輪を広げて行こうと語り、会員相互の連携と懇親を深め、出席会員が全員記念写真に治まり盛会裡に新年の集いを終わりました。

香川県支部

交通安全活動に参加防止活動に参加

香川県の人口当たりの交通事故の全国ワースト上位二位から脱却するため、交通安全パレードと交通安全キャンペーンに香川県支部会員が参加しました。

去る十二月十六日に実施された交通安全パレードの出発式は、多度津町高齢者交通安全協議会長多度津町長、丸亀警察署長、多度津交通安全協議会長の挨拶の後、西村支部長が善行会の活動の紹介を込めた交通安全パレードの激励メッセージを送り、日本善行会の知名度の向上を図りました。



香川県の人口当たりの交通事故の全国ワースト上位二位から脱却するため、交通安全パレードと交通安全キャンペーンに香川県支部会員が参加しました。去る十二月十六日に実施された交通安全パレードの出発式は、多度津町高齢者交通安全協議会長多度津町長、丸亀警察署長、多度津交通安全協議会長の挨拶の後、西村支部長が善行会の活動の紹介を込めた交通安全パレードの激励メッセージを送り、日本善行会の知名度の向上を図りました。

お知らせ

▽平成二十九年春季・特別善行表彰式  
〔日時〕五月二十日(土)十三時半〜十五時半  
〔場所〕東京都渋谷区 明治神宮参集殿  
▽定期総会  
〔日時〕六月二十七日(火)十三時〜十四時  
▽創立八十周年記念式典及び祝賀会  
総会終了後、十七時(場所)東京都新宿区 グランドヒル市ヶ谷

「第七回日本善行会創立八十周年記念事業準備委員会」及び「第五回八〇年のあゆみ編集委員会」が三月二十一日に開催された。「第七回日本善行会創立八十周年記念事業準備委員会」及び「第五回八〇年のあゆみ編集委員会」が三月二十一日に開催された。「準備委員会」では、六月に迫った八〇周年記念式典及び祝賀会等について、現在までの準備状況や今後の段取り等について検討が行われた。また、「あゆみ編集委員会」では、「八十年のあゆみ」の原稿の進捗状況について検討された。次回の両委員会は、四月二十四日に開催することとなった。

訂正とお詫び

三月号一面の勝野副会長の記事で、旧首相官邸での表彰式が昭和四十年代とされておりましたが、正しくは、昭和二十九年秋季から昭和三十七年秋季です。お詫びして訂正いたします。

善行川柳

○よき社会 健康長寿の 妙薬を

選者 東 逸平 北海道 齊藤 勉

評／不眠症の妙薬やら、肩凝りに効く健康食品やら、眼がどろんどろんなる薬やら、今や健康食品ブームですが、どれも健康食品の妙薬と謳ったものは聞かないですね。それと選外の句もそうですが、フレーズが固いですね。川柳は肩肘張って聞かせるものでも、読ませるものでもなく、吹きです。吹きは隣の人には、聞こえるかもしれないし、かといって特に双方が気を使うこともない。そんなもんです。これが川柳の極意ですよ。

○さしのべよ その一歩から 声かけよ

静岡県 真野 和代

評／いいですね。自殺志願者が増えています。必ず小さな胸に大きな悩みを抱えきれずに歩いてきたのでしょうか。自殺に至るその前に、その前に暖かな声かけがあれば。○時忘れ 話し上手に 聞き上手

香川県 丸野 忠義 評／ほのぼのの吹きと言いますか、福祉施設や病院に来る「話しボランティア」のひとこまが浮かびます。川柳は、気張らずに分かりやすい言葉で、作りましょう。